

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	福岡県		代表者名	服部 誠太郎	
担当者部署	企画・地域振興部		連絡先電話番号	092-643-3196	
担当者役職	主任主事	担当者氏名	網田 健吾	連絡先E-mail	
住所	812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	白井 芳明
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none">詳細かつ明晰な講演資料を作成いただけたこと。受講者のリテラシーに合わせた講演をいただき、受講者の理解度向上につながられたこと。受講者アンケートの結果が好評であったこと。（詳細は、「5-2 アンケートの内容と分析結果」参照）
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和6年1月16日	講演	有	令和6年1月23日	1177
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年1月24日	講演	14時00分	16時00分	0
				活動時間（分）	120

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	福岡県情報政策課職員	1人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	当県のインターネット環境は、セキュリティクラウドの導入以後、情報セキュリティに係るインシデント等は減少している。しかし、セキュリティクラウドの傘下でない外郭団体は、引き続きインターネット環境からのサイバー攻撃等のリスクに晒されている状況であり、研修等の機会を通じて外郭団体職員への啓発を行い、対策を実施していく必要がある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	外郭団体職員の情報セキュリティに関する意識を高め、サイバー攻撃や情報漏えいといったリスクを予防・低減させる。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	情報セキュリティに関する講演を実施いただいた。 テーマ：デジタル時代におけるセキュリティ対応について～個人情報取扱い事故を起こさないために～	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	講演を通じて、外郭団体職員の情報セキュリティに関する意識を高め、セキュリティリスクインシデントを予防する風土作りの一助となった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添「R5年度情報セキュリティ講習会アンケート集計結果」のとおり。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ⑤その他
事業の最終的な目指す姿	次年度以降も本事業(情報セキュリティ講習会)を継続し、県の外郭団体の外郭団体職員の情報セキュリティに関する意識を高め、サイバー攻撃や情報漏えいといったリスクを予防・低減させる。

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

